施工説明書

ほっとエクスプレス(即湯システム)

(先止め式)

品番:EG-2S1

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
この説明書は同梱の「取扱説明書」とともに施工完了後、お客様にお渡しください。

■施工時には必ずお守りください。
以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

施工の用語の説明

警告 **作業を誤った場合に設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。**

注意 **施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。**

上記に述べる傷害、物的損害、人とはそれぞれ次の様なものをいいます。

傷害　:治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、ヤケド、感電などをさします。

物的損害:家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害をさします。

人　:本機器の工事に携わる者、または使用者を想定しています。
ただし使用者は、購入者だけでなくその家族、来客、購入者から機器を譲渡された人なども含みます。

記号の説明

「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

「必ずアース接続をしなさい!」

⚠ 警　告

○アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電のおそれがあります。

○屋外には設置しないでください。
○屋内でも水がかかったり、表面に結露を生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
※故障や感電の原因になります。

○この機器はAC100V　360Wの電力を消費します。
必ず適した配線をしてください。また、200Vに接続しないでください。
※火災の原因になります。

○電源コードの延長も含め、改造や分解をしないでください。
※火災の原因になります。

⚠ 注　意

○機器内の水が空の場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損やヤケドのおそれがあります。

○この機器は、車両や船舶内に設置しないでください。
※機器の故障だけでなく、漏電、漏水のおそれがあります。

○必ず給湯配管に接続してください。
○給湯機器は80℃を越える設定温度にしないでください。
※機器が破損し漏水のおそれがあります。

○電源コードを傷つけたり，破損したり，加工したり，無理に曲げたり，引っぱったり，ねじったり，束ねたり，重いものを乗せたり，挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し，感電・火災の原因となります　。

○温泉水や自家製井戸水は使用しないでください。
※早期に機器が破損したり、漏水するおそれがあります。

○自動水栓オートマージュeなど、流量2.5L/min以下で使用する水栓金具と組み合わせないでください。
※通水時に機器内の空気が抜けず、お湯が出ないおそれがあります。

○この機器は、給水圧力 0.05MPa～0.75MPa の範囲でご使用ください。
※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水がふき出し続けるおそれがあります。

○膨張水口からの溢水配管は、確実に配管施工してください。
※漏水のおそれがあります。

○配管は 1 か所だけにしてください。2 か所以上に配管しないでください。
※水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりするおそれがあります。

1. 仕様

即湯システム本体品番		EG-2S1
外形寸法(幅×奥行き×高さ)		157mm×90mm×490mm
質量		本体 2.6 kg(満水時 4.5 kg)
使用水圧範囲		0.05(流動圧)～0.75MPa(静水圧)
減圧弁設定圧力		0.14MPa
過圧逃し弁設定圧力		吹き始め :0.9MPa 吹き止り :0.7MPa
電源コード長さ		有効長さ 1.5m
アース線長さ		有効長さ 1.5m
電気定格	定格電圧	単相 100V 50/60Hz
	消費電力	360W
タンク	容量	1.9L
	材質	特殊ステンレス鋼鈑
出湯温度		約 38℃～給湯機器設定温度
保温温度		約 80℃
電源スイッチを入れてからの必要待ち時間※		約 25 分
発熱体	構造	シーズヒーター
	容量	360W
自動温度調節器	構造	バイメタル方式(自動復帰式)
	設定温度	OFF:74℃ ON:64℃
温度過昇防止器	構造	バイメタル方式(手動復帰式)
	設定温度	OFF:92℃
給湯機器設定温度		38～80℃
使用可能雰囲気温度		0～40℃

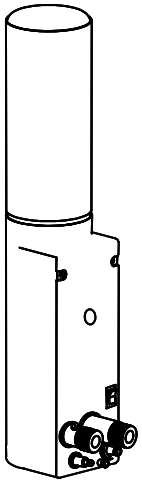
※電源スイッチを切っていた場合、機器内が水になりますのですぐにお湯が出ません。
電源スイッチを入れてから 25 分程度経過すると、すぐにお湯が出るようになります。

品番	同送排水セット
EG-2S1-S	EFH-4-EG :洗面カウンター用
EG-2S1-K	EFH-4K-EG :洗面化粧台用
EG-2S1-MK	EFH-4MK-EG :キッチン用(排水接続径 2 インチ用)
EG-2S1-MK(1H)	EFH-4MK(1H)-EG :キッチン用(排水接続径 1 インチ半用)
EG-2S1-MK-AS	EFH-4MK-AS-EG :キッチン用 (排水接続径 2 インチ横引き わん形トラップ用)

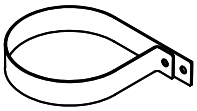
2. 同梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。

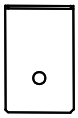
本体



固定金具上



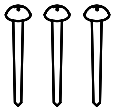
固定金具下



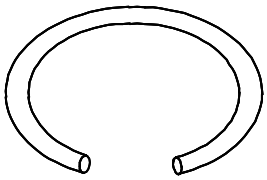
固定用ネジA
（4×8）:1本

固定用ネジB
（4×10）:4本

固定用ネジC
（4×40）:3本

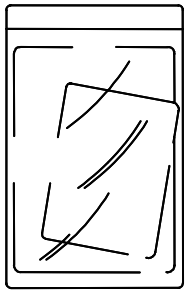


ビニルホース
（内径φ10mm、長さ600mm）

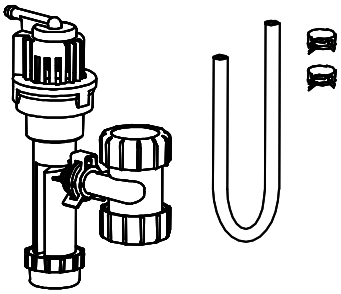


ホースクランプ

説明書セット



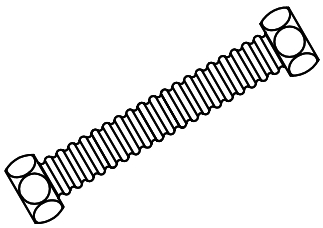
排水セット（同送品）



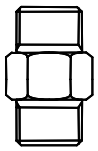
セット品番によって種類が異なります（図はカウンター設置用）。
排水セットの説明書をご覧ください。

※化粧台セットの場合、下記の部品を化粧台に同梱しています。

ステンレスフレキシブル管



ニップル（G1/2）



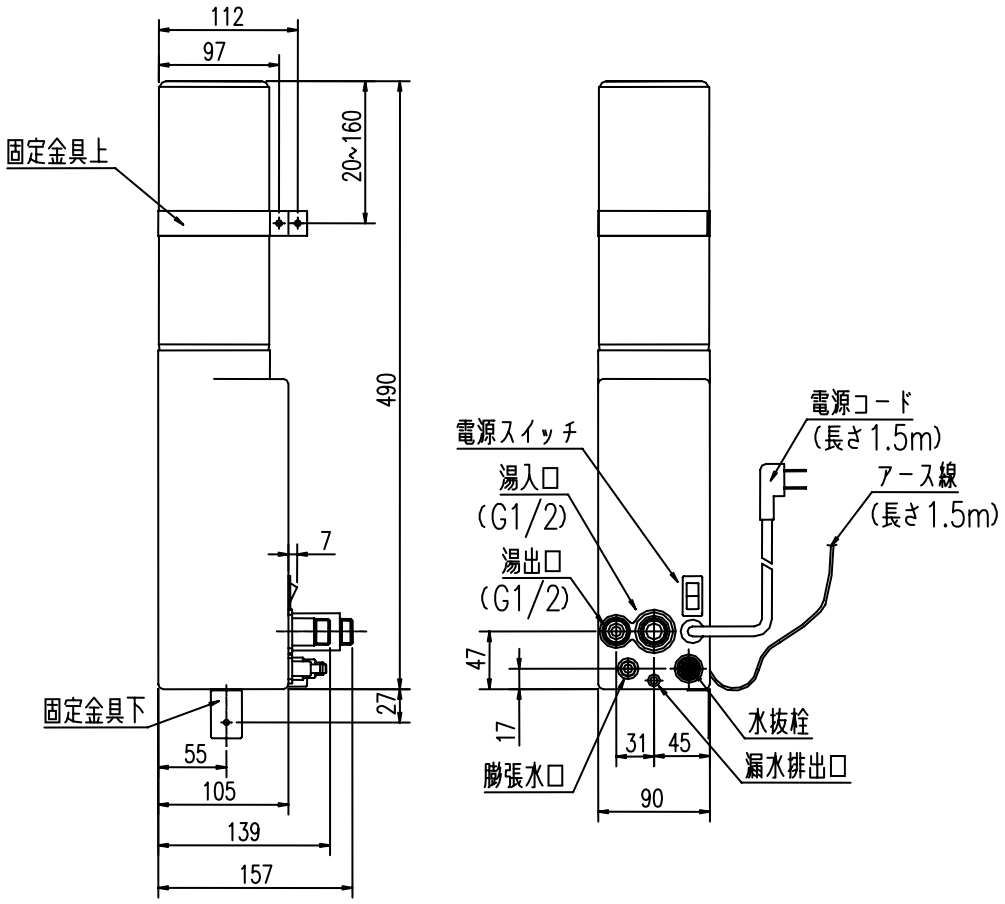
3. 別売品一覧

品名	品番	価格	備考
膨張水排水ホース	EFH-1M	¥500	内径φ7mm×1m 排水セットに付属のホースで長さが不足する場合にお使いください

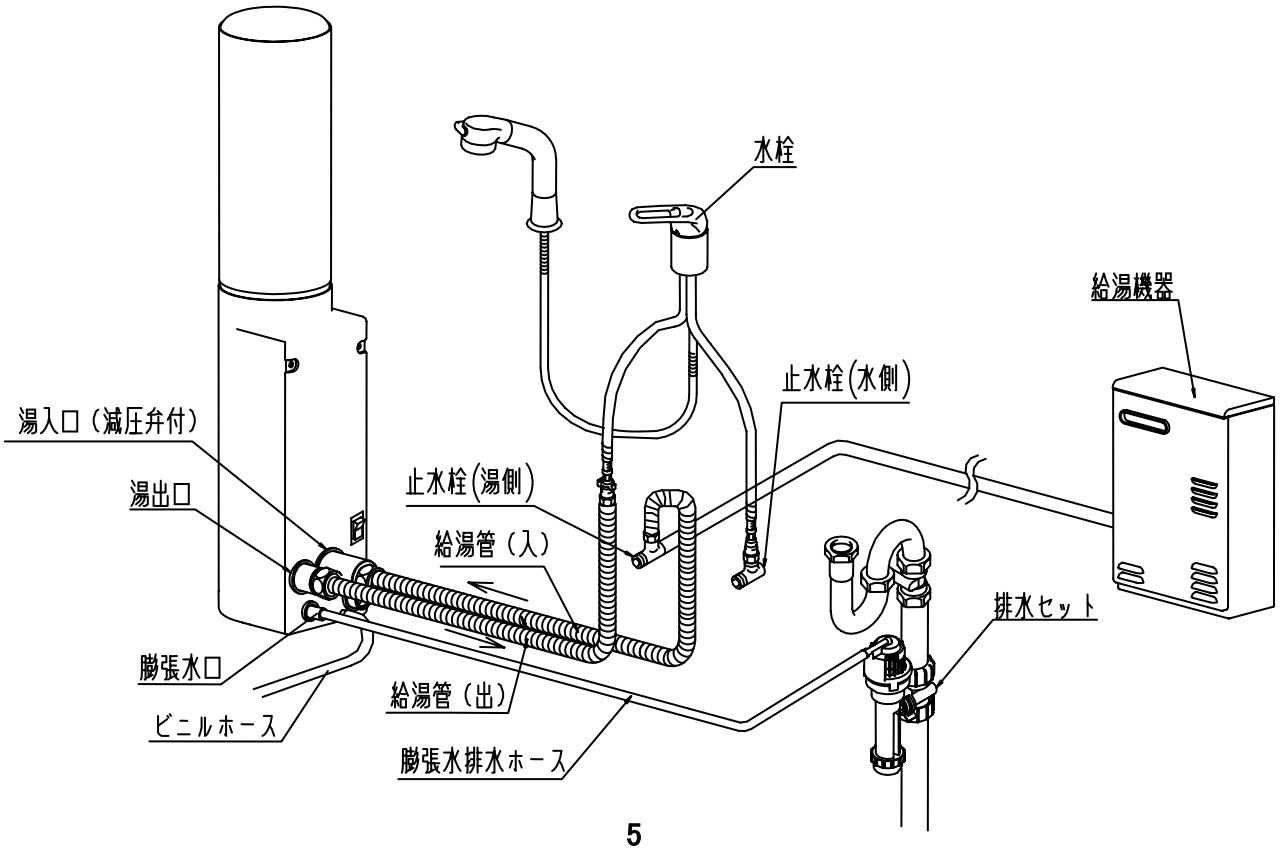
その他、現場での必要調達品（化粧台セットの場合、止水栓以外は化粧台に同梱しています）

- ステンレスフレキシブル管（1/2B：呼び径 13mm）
- ニップル（G1/2）
- 1/2B パッキン
- 止水栓

4. 寸法図

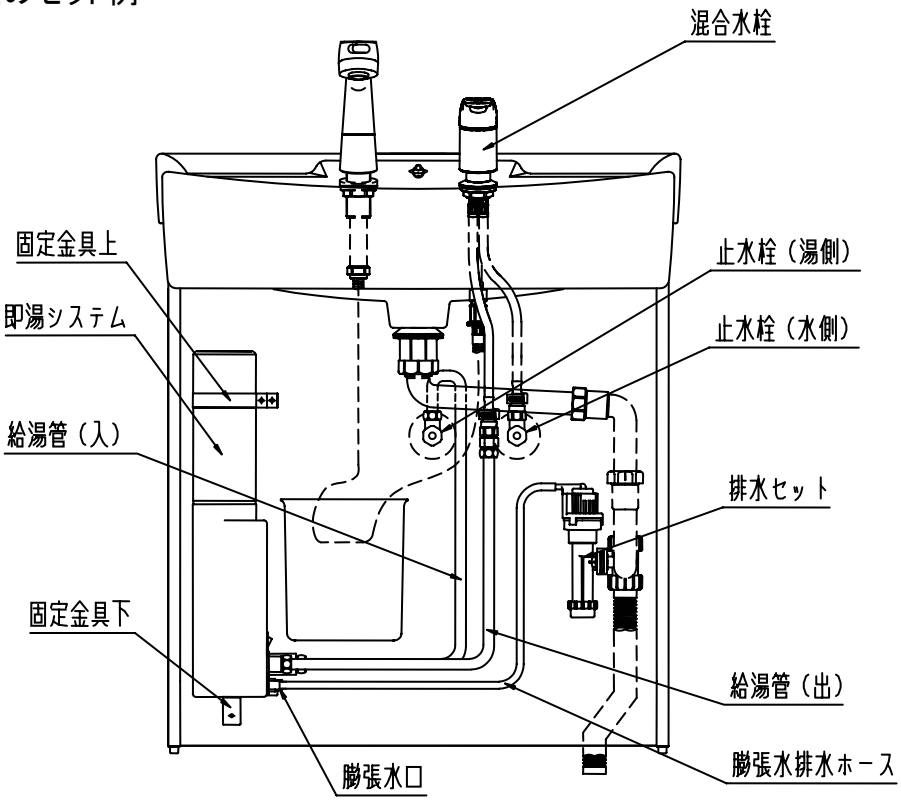

112
97
20~160
固定金具上
490
7
固定金具下
27
55
105
139
157
電源スイッチ
湯入口
(G1/2)
湯出口
(G1/2)
電源コード
(長さ1.5m)
アース線
(長さ1.5m)
47
17
31
45
水抜栓
漏水排出口
膨張水口
90

5. 配管参考図

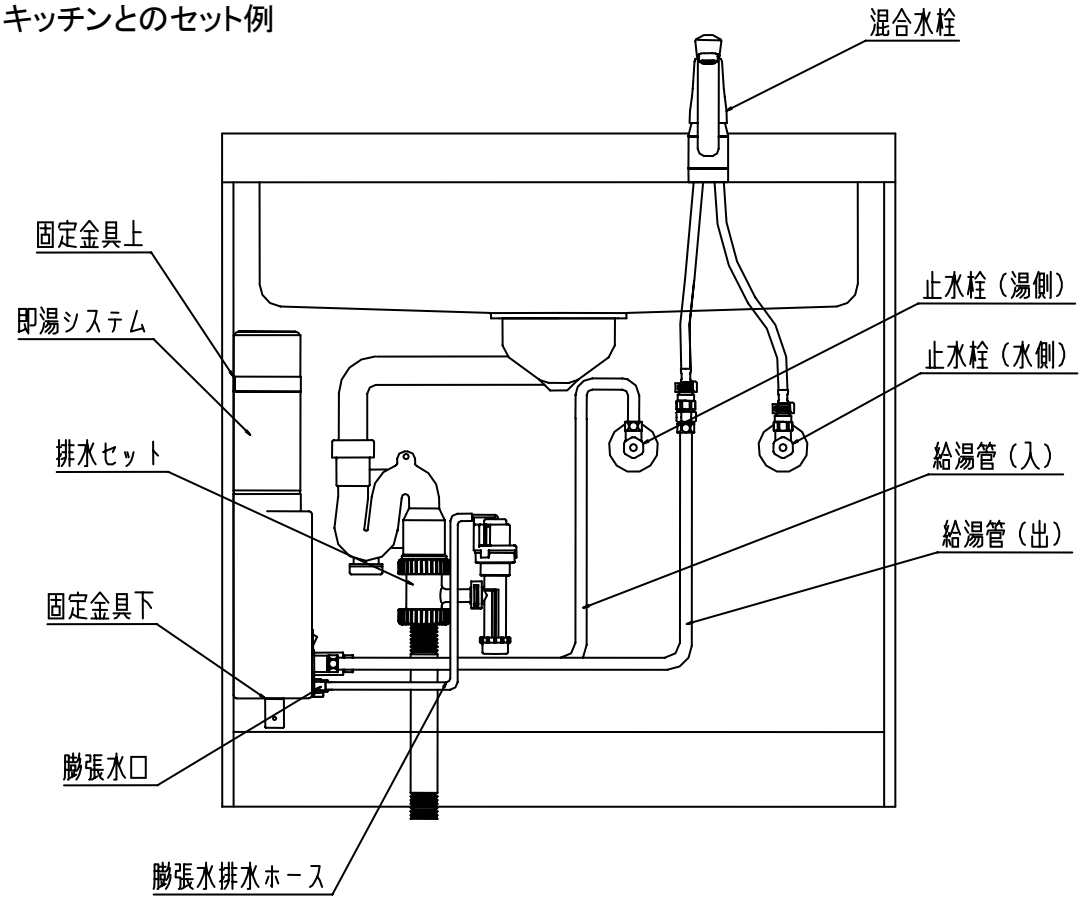

水栓
給湯機器
止水栓(水側)
湯入口(減圧弁付)
湯出口
止水栓(湯側)
給湯管(入)
排水セット
膨張水口
給湯管(出)
ビニルホース
膨張水排水ホース

6. 施工例

（1）化粧台とのセット例



（2）キッチンとのセット例

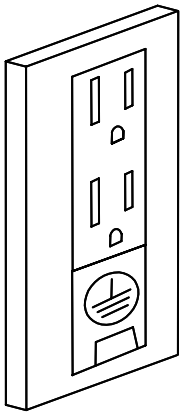


7. 電気工事

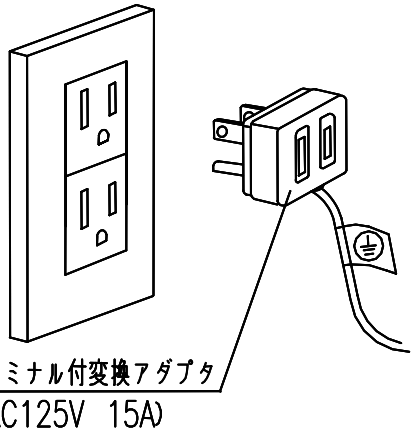
①即湯システムの取付位置より1.5m以内の所に、即湯システム専用にアースターミナル付接地極付コンセントを用意してください。

※アースターミナルのないコンセントがついている場合は、コンセントを変更してください。コンセントの変更ができない場合は、アースターミナル付変換アダプタ(定格AC125V 15A)を別途手配し、アース線が正しく接続できるようにしてください。

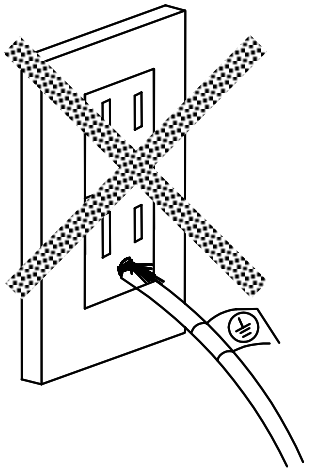
②D種接地工事をしてください。



アースターミナル付接地極付コンセント



アースターミナルのないコンセントの場合



このような接続は絶対に行わないでください

〇200Vには接続しないでください。

〇アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。

※故障や漏電時に感電のおそれがあります。

※EG-2S1は100V／360Wの電力を消費します。

8. 取付手順

※INAX製化粧台とセットする際、即湯システムの設置スペースを確保するために、
標準化粧台と給排水位置を変更する必要がある場合があります。
別紙 「INAX製化粧台・キッチンへの取付条件」をご確認のうえ、
所定の位置に給排水管が取り出してあることを確認してください。
※即湯システムを取り付ける前に、水栓金具本体を水栓金具の施工説明書に従って、
化粧台やキッチンに取り付けてください。

8-1. 取付準備

(1)取付空間の確認

本体の取付けには、下記の空間が必要となります。

幅	奥行き	高さ
200mm	92mm	530mm

※排水セットの取付条件は、排水セットの説明書をご確認ください。

(2)取付強度の確認

※この機器は、満水時の質量が約4.5kgになります。取付強度が十分にあることを確認して、取付位置を決めてください。

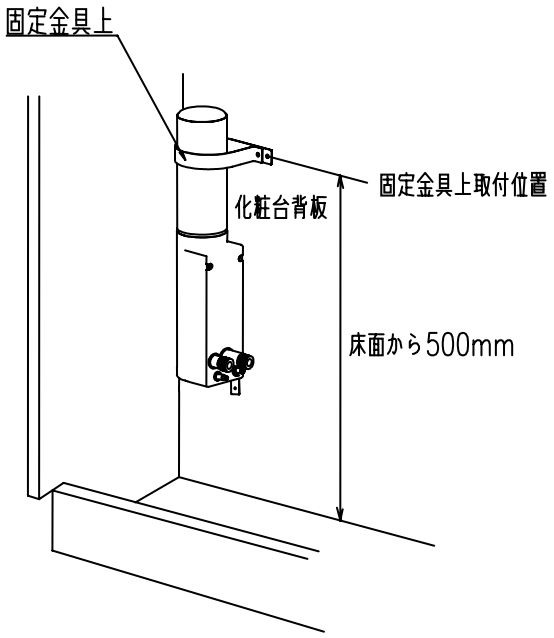
(乾式壁の場合)

即湯システムの固定金具上を取り付ける位置に、厚さ30mm以上、幅90mm以上の補強木が入っていることを確認してください。

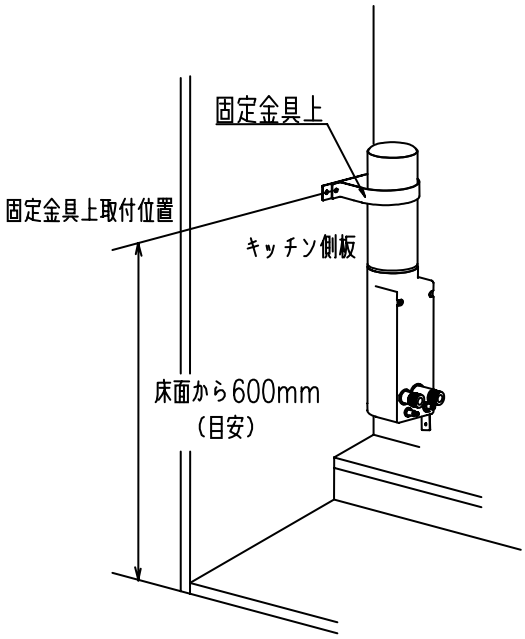
(湿式壁の場合)

同梱の固定用ネジC(呼び径4mm　長さ40mm)にあったプラグを用意してください。

※INAX製化粧台の場合、背板の床から500mmの高さに固定金具上を取り付けることができます。
※INAX製キッチンの場合、側板に固定金具上を取り付けることができます。
(固定金具上の取付位置は床から 600mm が目安です。)



INAX製化粧台の場合の取付位置



INAX製キッチンの場合の取付位置

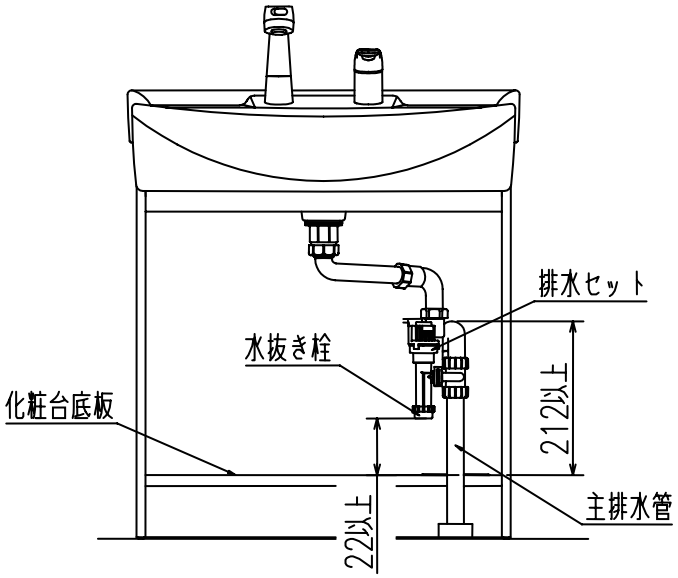
(3)排水セットの取付け

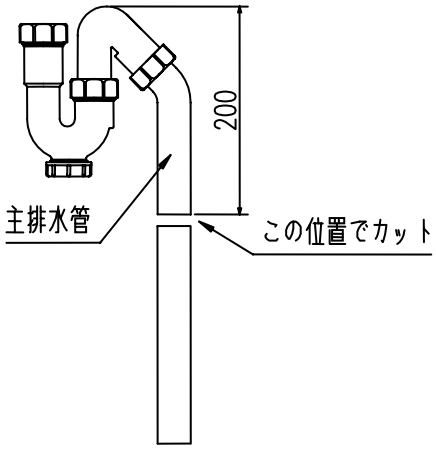
この機器は、ヒーター通電中に膨張水が出ます。
同送の排水セットを用いて、膨張水配管を行ってください。
排水セット施工説明書の「2.設置前の準備」以降をお読みの上、排水セットの取付けを行ってください。

〇溢水配管は、確実に配管施工してください。
※漏水のおそれがあります

※主排水管が直管タイプの化粧台に洗面カウンター用排水セットを取り付ける場合（INAX製エルシィの場合など）

排水セットの水抜きをするためのスペースとして、水抜き栓から化粧台底板まで22mm以上必要です（排水トラップ上端から化粧台底板まで212mm以上ないと、取り付けできません）。
寸法を確認し、主排水管をカットする位置を決めてください。



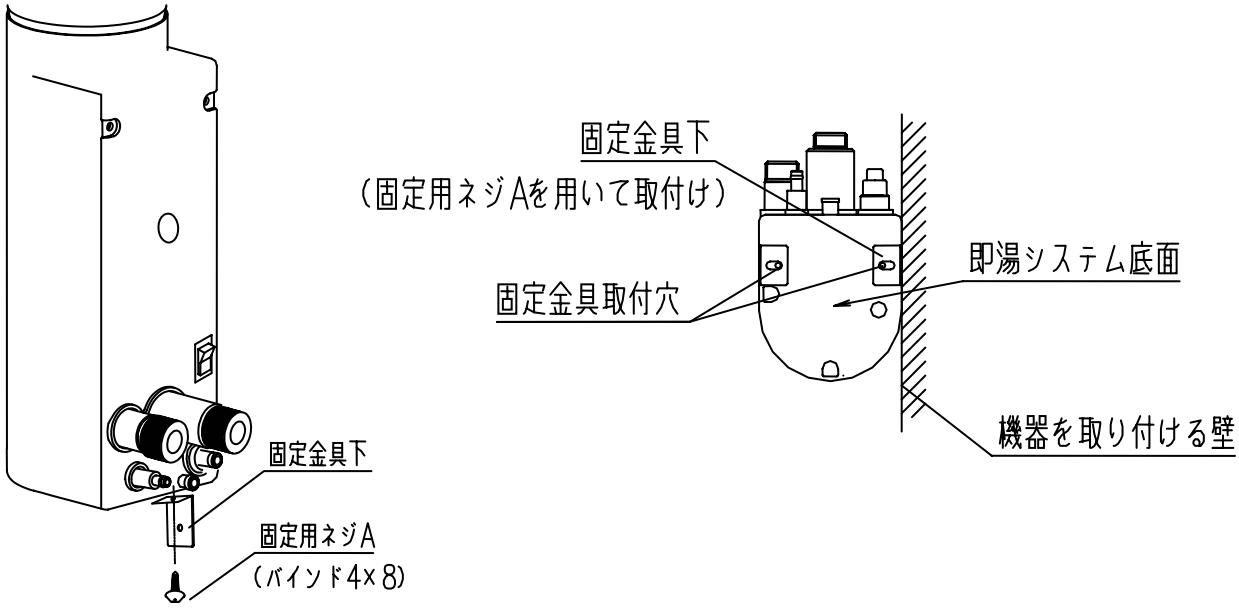


（参考）INAX製化粧台　エルシィの場合の主排水管カット位置

8-2. 即湯システムの固定

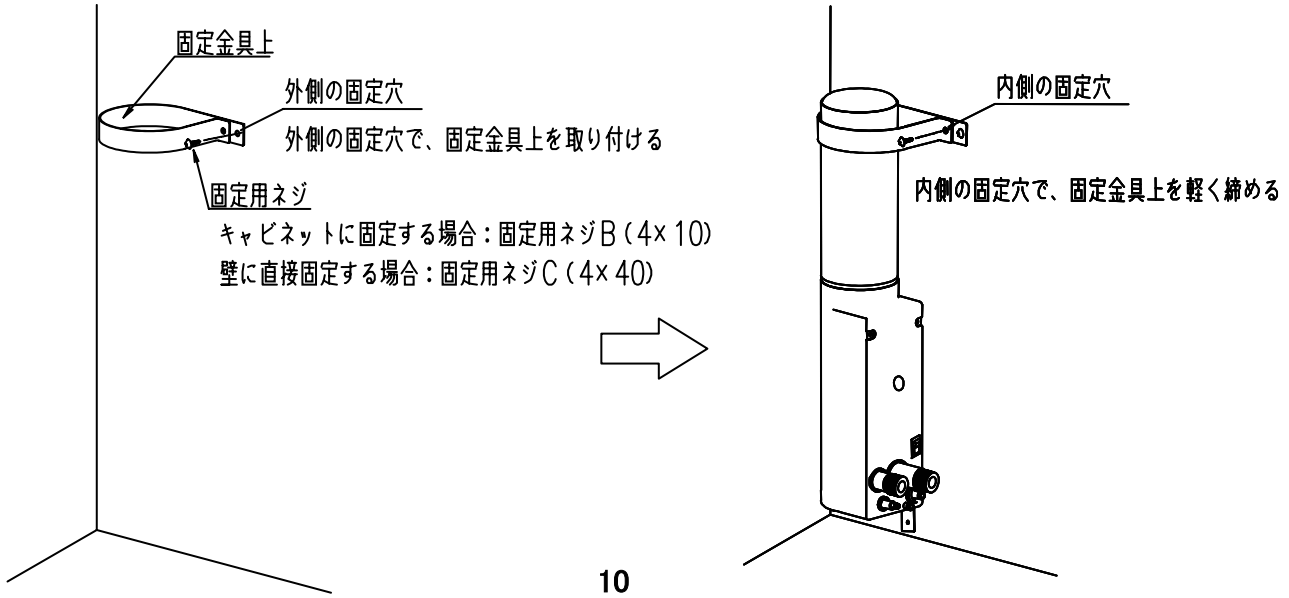
※機器の水抜きバルブを操作するスペースを確保するために、即湯システムを床から離して設置してください。

①同梱の固定用ネジA（バインド　4×8mm）を用いて、即湯システムの底面にある固定金具取付穴に固定金具下を取り付けてください。
※機器を取り付ける壁側に固定金具がくるように、取り付けてください。

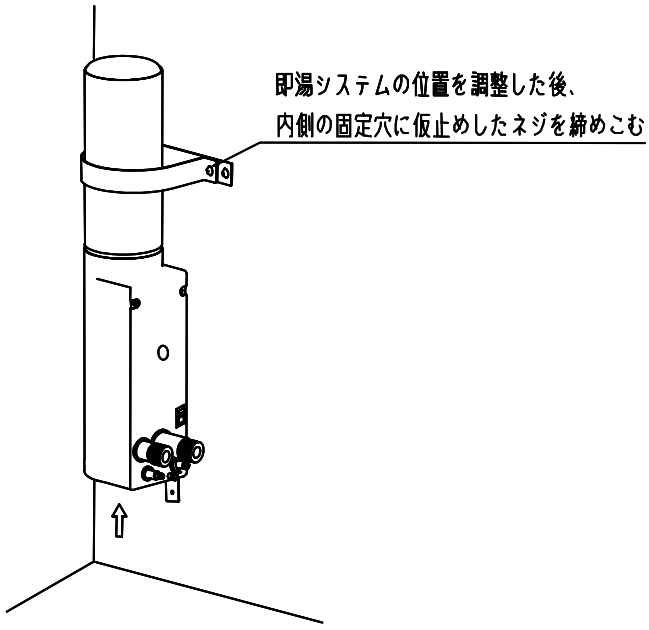


②固定金具上を8-1(2)で決めた取付位置に固定します。
固定金具上の外側固定穴に固定用ネジをねじ込み、取付面に固定してください。
キャビネットに固定する場合は、同梱の固定用ネジB（トラス　4×10mm）を用いてください。カウンター下に設置する場合など、壁に直接取り付ける場合は、同梱の固定用ネジC（トラス4×40mm）を用いてください。
※湿式壁に取り付ける場合、固定用ネジCにあったプラグを用意して固定してください。

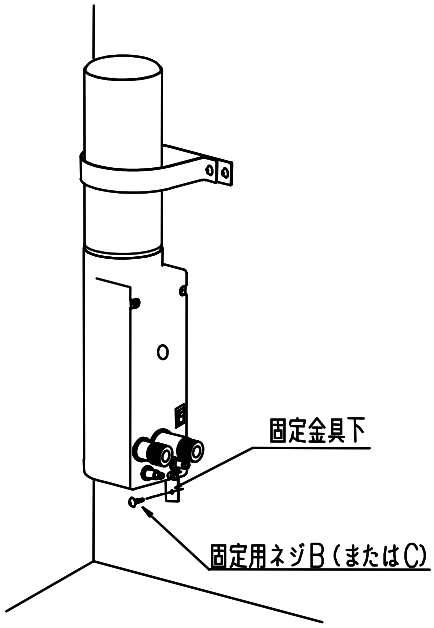
③即湯システムの上部を固定金具上に通し、固定金具上の内側固定穴に固定用ネジをねじ込み、本体の位置調整ができる程度に軽く固定金具を締めてください。



④即湯システムの位置を調整し、固定金具上の内側固定穴に止めたネジを締めこんで、
即湯システムを固定してください。



⑤②で使用したネジと同じ種類のネジを用いて、固定金具下を取付面に固定してください。



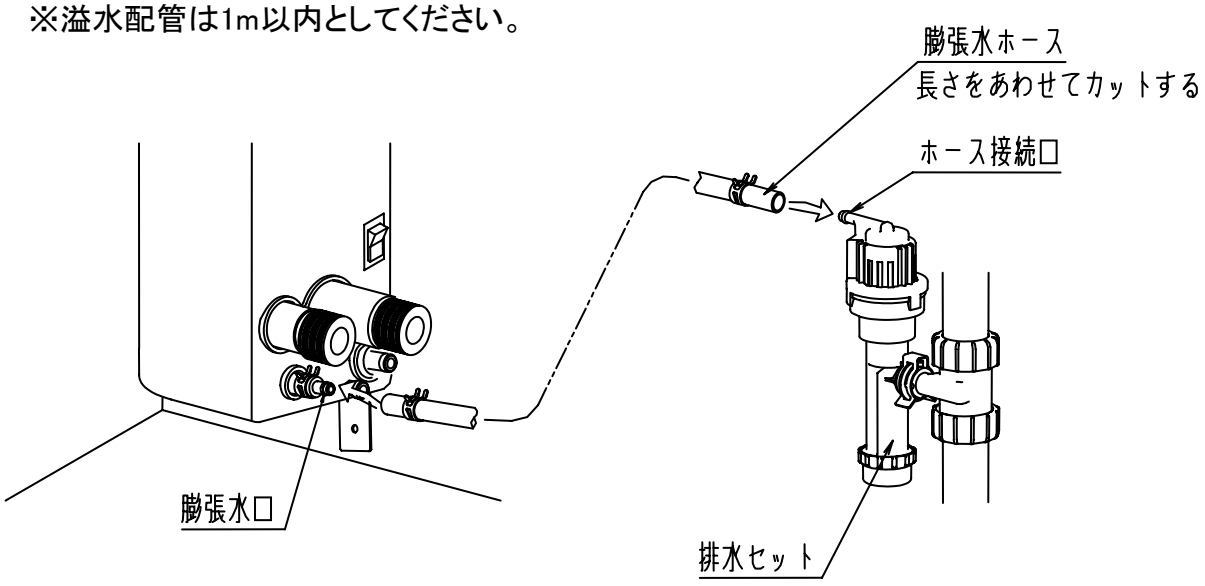
8-3. 膨張水排水ホースの取付け

①即湯システムの膨張水口に膨張水排水ホース（排水器具同梱品、内径φ7mm）を差し込み、ホースクリップで固定してください。

②膨張水排水ホースのもう一方を排水セットに差し込むのに適当な長さでカットし、ホース接続口に差し込みます。ホースはホースクリップで固定してください。

※膨張水排水ホースが膨張水口から排水器具まで届かない場合は、別売のホース（EFH-1M、内径φ7mm×1m ）を準備するか、内径φ7mmのホースを現場調達してください。

※溢水配管は1m以内としてください。



8-4. 機器への配管

※機器への配管には、市販のステンレスフレキシブル管（1/2B：呼び径13mm）を使用してください。（化粧台セットの場合は同梱しています。）

〇この機器は0.75MPaを超える高水圧地域では使用しないでください。
※機器が破損し漏水のおそれがあります。

※機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。

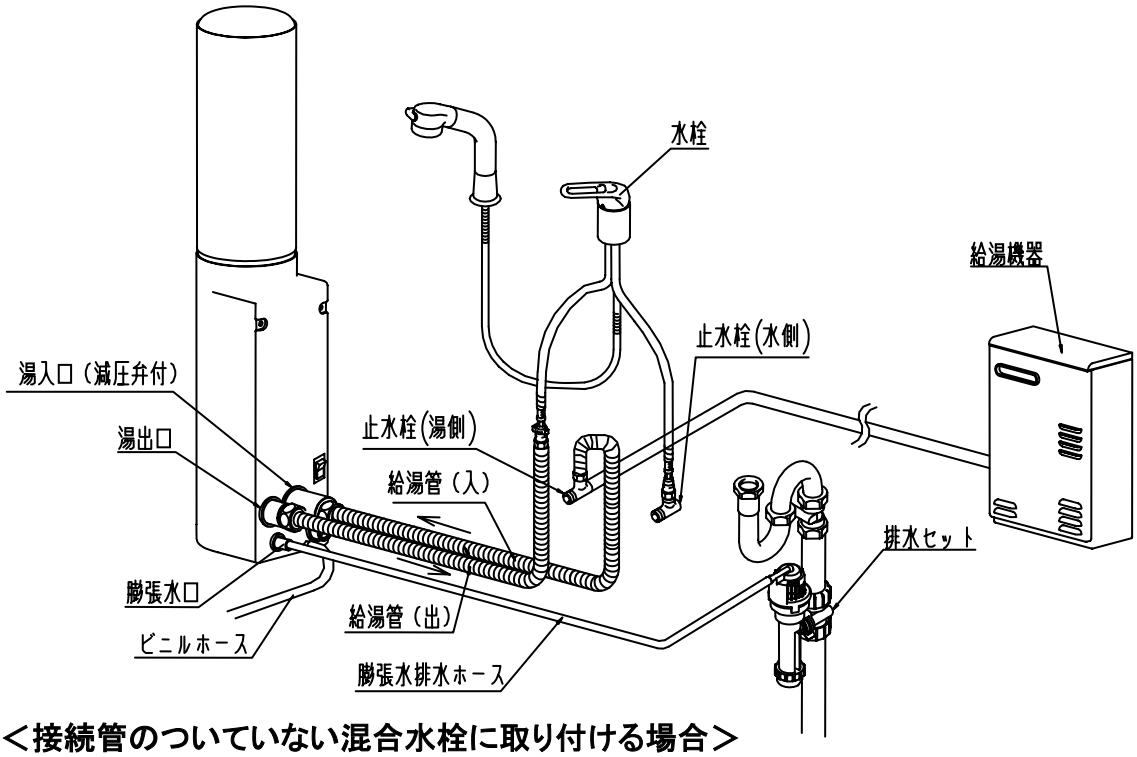
※止水栓を開けて20L程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。

〇機器を接続する前に、必ず配管内のゴミ等を確実に除去してください。
※ゴミ等が機器本体内に入ると故障の原因になります。

〇ステンレスフレキシブル管の接続部には必ずシートパッキンを使用して接続してください。
※漏水のおそれがあります。

〇本体を分解しないでください。
※機器が破損し漏水のおそれがあります。

【配管完成図】



＜接続管のついていない混合水栓に取り付ける場合＞

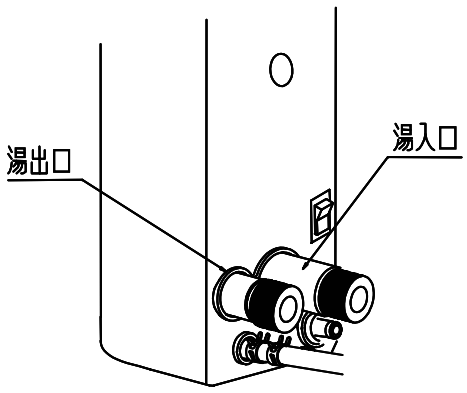
※水栓金具に給水ホース・給湯ホースなどの接続管がすでについている場合は、
14 ページをご覧ください。

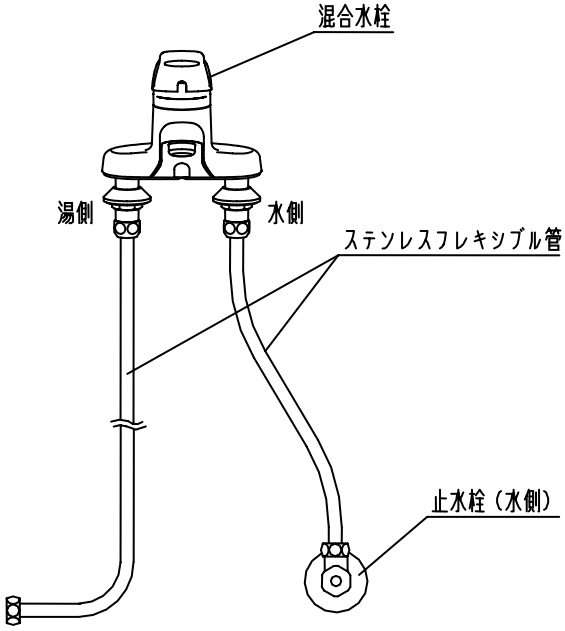
①ステンレスフレキシブル管を、水栓金具の水側および湯側に接続してください。

②（水栓給水管の接続）①で水栓金具の水側に接続したステンレスフレキシブル管を、水側の止水栓と接続してください。

③（給湯管（入）の接続）湯側の止水栓と即湯システムの湯入口を、ステンレスフレキシブル管で接続してください。

④（給湯管（出）の接続）①で水栓金具の湯側に接続したステンレスフレキシブル管を、即湯システムの湯出口と接続してください。





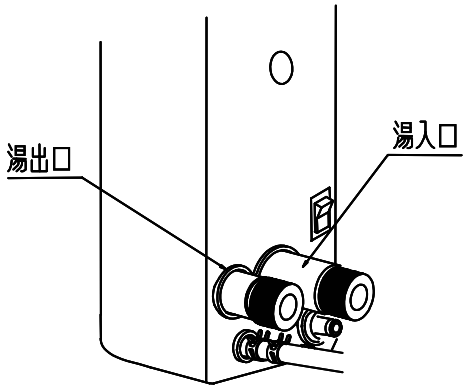
即湯システムの湯出口と接続

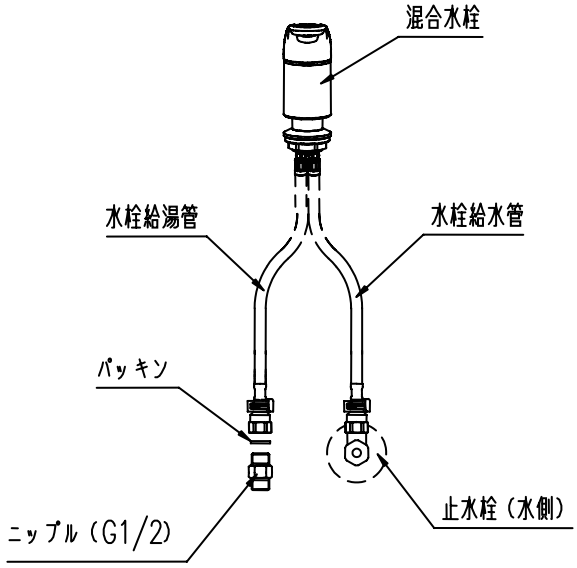
〇即湯システムの湯入口と湯出口を逆に接続しないでください。
※高温の湯が出て、ヤケドのおそれがあります。

⑤ステンレスフレキシブル管に断熱材を巻いてください。
※ステンレスフレキシブル管には給湯機器からのお湯が通ります。即湯システムの電源スイッチを操作する場合やキャビネット内の収納物を取り出す際などにヤケドをしないよう、断熱材を巻いてください。

＜ホース付水栓（ワンホールシングルレバー水栓等）に取り付ける場合＞

※シャワー水栓などで水受けタンクがある場合は、水受けタンクの取り外しができるようにタンクの下側にステンレスフレキシブル管を通してください。
①（水栓給水管の接続）混合水栓の水栓給水管を水側の止水栓と接続してください。
②（給湯管（入）の接続）湯側の止水栓と即湯システムの湯入口を、ステンレスフレキシブル管で接続してください。
③（給湯管（出）の接続）混合水栓の水栓給湯管にニップル（G1/2）を取り付け、ステンレスフレキシブル管を接続できるようにしてください。





④即湯システムの湯出口と③で取り付けたニップルを、ステンレスフレキシブル管で接続してください。

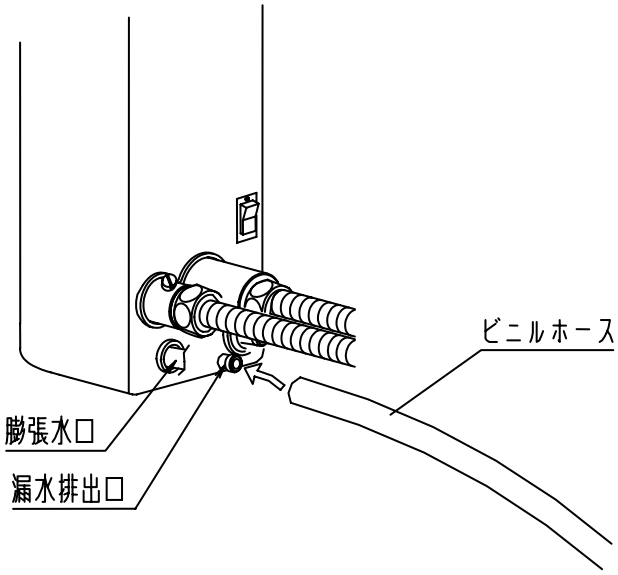
〇即湯システムの湯入口と湯出口を逆に接続しないでください。
※高温の湯が出て、ヤケドのおそれがあります。

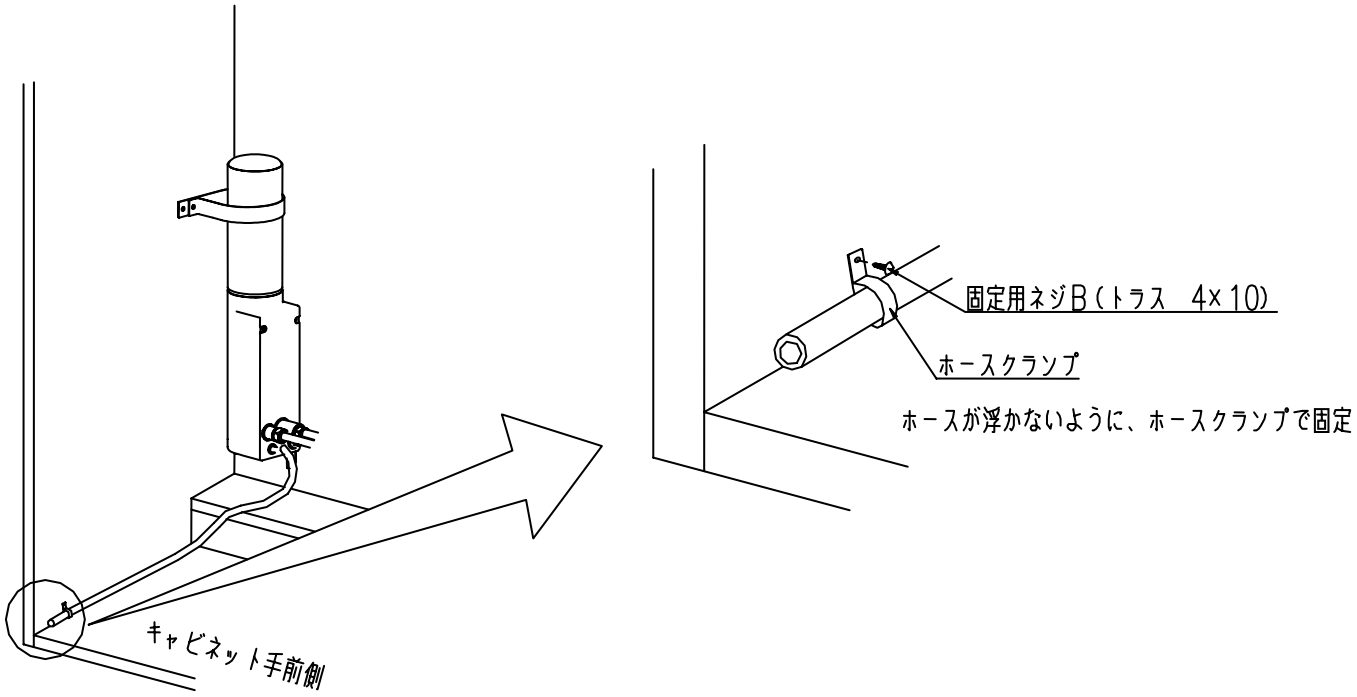
⑤ステンレスフレキシブル管に断熱材を巻いてください。
※ステンレスフレキシブル管には給湯機器からのお湯が通ります。即湯システムの電源スイッチを操作する場合やキャビネット内の収納物を取り出す際などにヤケドをしないよう、断熱材を巻いてください。

8-5. 漏水排出口の接続(漏水の早期発見による拡大被害防止)

万一、機器内部で漏水が発生した場合に、漏水した水を排出する漏水排出口を設けています。同梱のビニルホースを漏水排出口に接続し、ホースのもう片方を漏水が発見しやすい場所(キャビネットの手前側など)に固定してください。

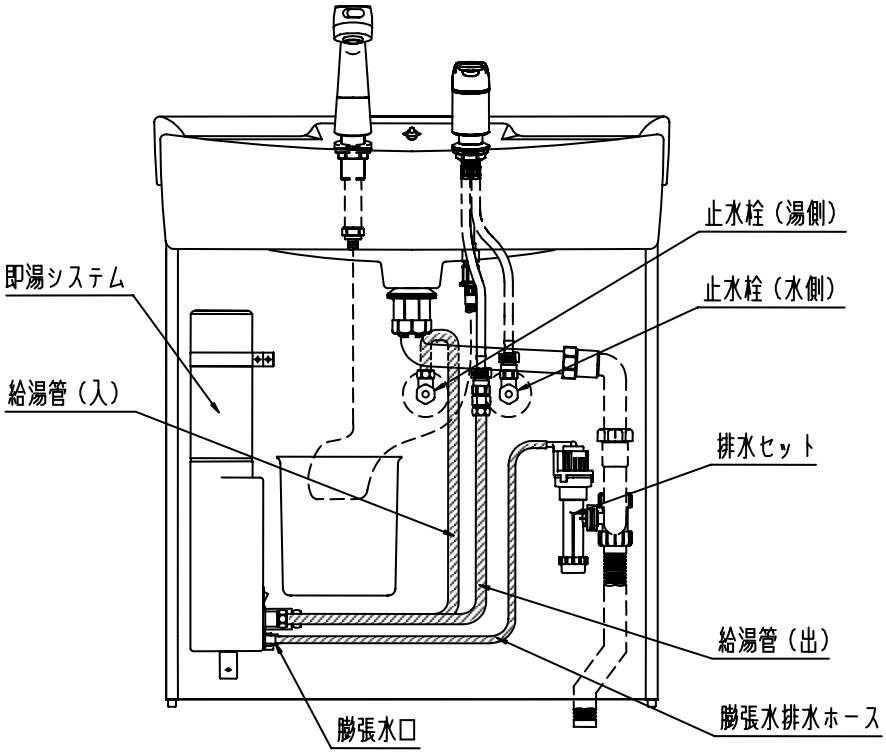
※ビニルホースは、機器の水抜きをする際にも使用します。





9. 凍結予防

給水管、出湯管、溢水配管には断熱材を巻いてください（下図の▨部）。
必要に応じて断熱材をヒーターに変更してください。
室温が 0℃以下になる場所では、試運転のために通水した後、19 ページの水抜方法に従って、本体・排水セット・配管の水抜きを実施してください。
機器のスイッチが入っていない場合、引き渡しまでの間に凍結するおそれがあります。



10. 施工後の確認・処置

(1)溢水配管の確認

即湯システムの取付けが完了しましたら、下記の3点確認することにより必ず溢水配管が行われていることを確認してください。

①専用の排水セットが取り付けられていること。
②排水セットが目視で垂直に取り付けられていること。
③排水セットと即湯システム膨張水口が確実に接続されていること。

〇膨張水口からの溢水配管が行われているか確認してください。
※漏水のおそれがあります。

(2)通水確認と流量調整

溢水配管の確認が完了しましたら、通水確認と流量調整をしてください。

①給水・給湯配管が確実に接続されていることを確認してください。
②給水配管内のゴミを取る作業(12 ページを参照ください)を行ったか再度確認してください。
ゴミをまだ取っていない場合は水を流して確実に配管内のゴミを取り除いてください。
※ゴミが残っていると、機器にゴミが侵入し故障の原因になります。
③給湯機器の運転スイッチを切ってください。

〇必ず、給湯機の運転スイッチを切って通水してください。
※機器内に水が入らず、空だきとなるおそれがあります。

④混合水栓の水側を開け、水が出ることを確認した後に水側を閉めてください。
⑤混合水栓の湯側を開いてください。空気を巻き込みながら吐水されます。
数分経過すると、吐水が安定し、通水が完了します。
⑥混合水栓の湯側を閉め各接続部から漏水がないことを確認してください。
⑦再度水栓を開き、必要以上の水量、あるいはオーバーフロー能力以上に吐水されないように、止水栓で流量を調節してください。

〇必ず、止水栓で流量を調節してください。
※流量を出しすぎると、水はねや湯切れのトラブルの原因となります。

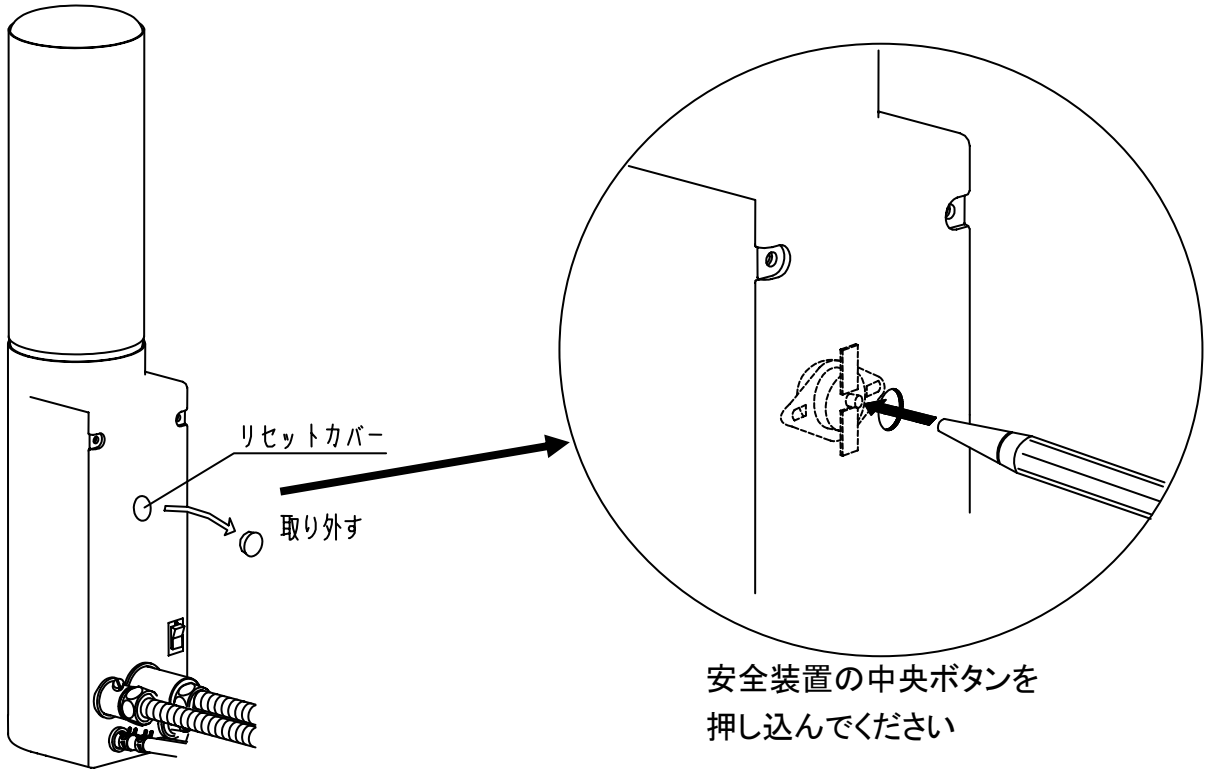
(3)即湯システムの通電

① 満水になったことを確認し、電源差込プラグを確実に差し込んでください。
② 電源スイッチを「入」にしてください。スイッチ部が点灯します。

〇機器内の水が空の場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損やヤケドのおそれがあります。

※電源スイッチを入れたにもかかわらず、スイッチ部が点灯しない場合、
安全装置である温度過昇防止器が作動していることが考えられます。
一旦電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、前扉の
リセットカバーを取り外し、安全装置中央のボタンをボールペンの先などで
軽く押し込んでください。

〇電源スイッチが入ったままで安全装置をリセットしないでください。
※感電のおそれがあります。



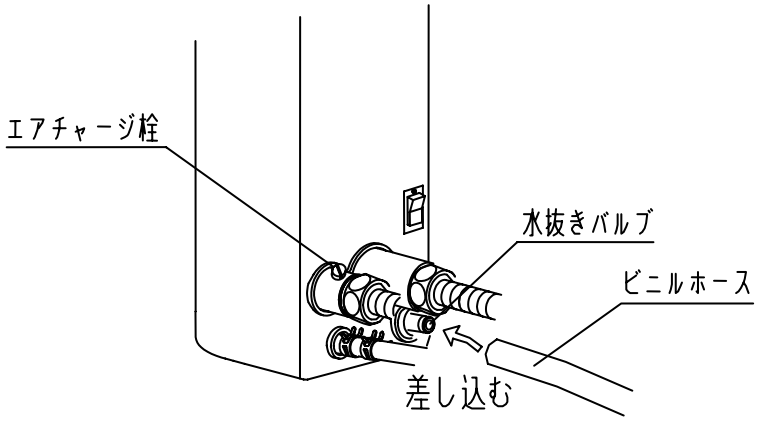
安全装置中央のボタンを押し安全装置を復帰させたら、電源プラグをコンセントに差し込み、
電源スイッチを「入」にした時にスイッチ部が点灯することを確認してください。
スイッチ部が点灯することが確認できたら、リセットカバーをしっかりと元の位置に
取り付けてください。

11. 水抜方法

施工後、引渡しまでに凍結のおそれがある場合は、以下の要領で機器内の水を抜いてください。

① 電源スイッチを「切」にして、電源差込プラグをコンセントから抜いてください。
② 給湯機器の運転スイッチを切ってください。
③ 水栓を開け、機器内のお湯を出し切ってください。
④ 止水栓を閉めてください。
⑤ 水抜バルブにビニルホース（同梱品）を取り付け、洗面器等で排水した水を受ける準備をして下さい。
⑥ 水抜バルブを開けてください。
※手動で左へ 2～3 回転させてください。固くて回しにくい場合はペンチ等を使用してください。

〇必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜きバルブを開けてください。
※高温の湯によりヤケドのおそれがあります。



⑦ 排水をしやすくするために湯出口にあるエアチャージ栓を開けてください。
※マイナスドライバー等を利用して左へ 2～3 回転してください。
⑧ タンク内の水が抜けたら、水抜バルブ、エアチャージ栓を閉めてください。

以上の操作で排水は完了します。
※排水用ビニルホースは捨てずに、必ずお客さまにお渡しください。

■お問合せ先

(株)INAX 『お客さま相談センター　商品相談窓口』
ナビダイヤル　TEL　0570－017173
受付時間　　平日　　9:00 ～ 19:00
土日・祝日　10:00 ～ 18:00（年末年始、夏季休暇は除く）
※ ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などご利用できません。
TEL 0562-31-0793　FAX 0562-31-0797　をご利用ください。

ホームページアドレス　http://www. inax. co. jp